

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 10 月 18 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/18 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力 ^{*1}	原子炉格納容器 水素濃度
1 号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	29.8	107.9 kPa abs	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.05 vol%
2 号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	40.2	7.29 kPa g	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.06 vol%
3 号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.5 m ³ /h	39.5	0.22 kPa g	A系： 0.12 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.12 vol%

*1: 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

・H25/10/16 10:09 頃 2号機サブプレッションチェンバ内部の気体が原子炉格納容器ドライウェル側へ移動していることの有無を確認するため、窒素ガスの封入を開始(10/30 まで実施予定)。窒素ガスの封入量は5 Nm³/h。今後、サブプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入にあたっては、関連パラメータの監視およびデータ採取を行う。

【3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況】

・H25/10/18 7:53 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ[10/18 8:00 時点]): 気温 12.5℃、湿度 80.8%)

※プラント状況、モニタリングポストの指示値等異常なし。

11:00 頃 湯気をカメラにて確認できないことを確認。(気象データ[10/18 11:00 時点]): 気温 17.4℃、湿度 49.5%)

※プラント状況、モニタリングポストの指示値等異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/18 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.0
2号機	循環冷却システム	運転中	20.0
3号機	循環冷却システム	運転中	18.9
4号機	循環冷却システム	運転中	28

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 → 移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋 → 3号機タービン建屋	10/10 10:20 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋 → 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	10/4 10:26 ~ 移送実施中

7/16 13:00～ 5, 6号機屋外の仮設タンク(9基)には、震災時に5, 6号機各建屋に流入した海水および地下水(メガフロート水)を貯蔵しているが、本仮設タンク水を5, 6号機タービン建屋滞留水と同様に淡水化处理(RO)を行うため、6号機北側にあるFエアータンクへ移送を開始。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (10/18 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	C系ホット試験中

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/8/8 12:55～ 6/15に多核種除去設備A系で発生したバッチ処理タンクからの水漏れについて、現在A系で実施している腐食防止対策をB系でも実施するため、同設備B系を停止。
再発防止対策を実施した上で、C系は9/27にホット試験を開始。A系は10月下旬、B系は11月以降を目処にホット試験を再開予定。

<5. その他>

・H25/10/9 2号機の取水口スクリーンのシルトフェンス内側および外側において、セシウム134およびセシウム137の値が、10/8の分析結果と比較して有意な上昇傾向を確認。

今回の上昇は1, 2号機取水口付近止水対策工事の影響による可能性が考えられるが、これを受けて10/11から1週間を目途に、港湾内5地点(物場場前、1～4号取水口内北側(東波除堤北側)、2号機スクリーン(シルトフェンス内側)、2, 3号機取水口間、港湾口)のサンプリング頻度を上げてモニタリングを強化。

10/17に採取した海水のサンプリング結果が以前のレベルに低下したことから、サンプリング頻度を従来に戻し、引き続き監視を継続。

・10/18 8:40 頃 福島第一原子力発電所構内中央の五差路交差点付近の重機置場から作業場所である体育館前に50t ラフタークレーンを移動してきたところ、運転手である協力企業作業員が同クレーンからの油漏れを発見。その後、8:46に重機置場に戻り、油の滴下箇所を確認。滴下した油は燃料フィルターから漏れた燃料油(軽油)であり、油の滴下については、10:40に停止していることを確認。重機置場の路面への油の漏れ範囲は50cm×50cm程度で、9:40に吸着マットによる処理を終了。また、体育館前の油の漏れ範囲は200cm×200cm程度で10:20に処理を終了。今後、移動経路の路面の油については、中和剤を散布する予定。なお、9:15、富岡消防署へ連絡している。

・10/16 H5エリアおよびH6エリアの堰内の水については、溢水を避けるための緊急避難的措置として、地下貯水槽No.7(これまで未使用)に移送。

10/18 15:30 頃 地下貯水槽 No.7から 4000トンノッチタンクへ移送開始。

・6号機燃料集合体を原子炉内から使用済燃料プールへ移動させる作業を開始予定だったが、原子炉建屋排気プレナム放射線モニタ※の4台中1台の計器の指示不良が考えられたため、10/17から当該計器の点検を実施している。今後、当該計器点検の完了後より燃料移動作業を開始予定。

※原子炉建屋排気系の排気放射線レベルを監視する放射線モニタ

【H4エリアタンク・B南エリアからの水の漏えい関連】

<トピックス>

・10/6 H4エリア I グループ No.5タンクの側板1段目の解体を実施。

・10/7 H4エリア I グループ No.5タンクの底板部の解体を実施。

<最新のパトロール実績(10/17)>

・高線量当量率箇所($\beta + \gamma$ 線(70 μ m線量当量率))は確認されず。

・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(堰内溜まり水箇所の漏えいを除く)を確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

・10/17 採取分のH4エリア周辺の地下観測孔E-1において、全ベータ放射能が過去の変動に対して高い値となっている。引き続き監視を継続するとともに、汚染土壌のさらなる除去に努める。なお、10/16 採取分と、10/17 採取分のその他の分析結果については、前回と比較して有意な変動なし。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・10/17 採取分のH4エリア周辺のB排水路B-2、B-3において、全ベータ放射能が過去の変動に対して高い値となっている。B排水路B-2、B-3の全ベータ放射能が上昇した原因は台風により排水溝周辺の汚れが排水溝に流入し、B-3の下流に土のうを設置しており溜まり水となっているためと考えており、今後排水溝の清掃を実施予定。その

他の分析結果については、前回と比較して有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

＜トピックス＞

- ・1・2 号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は
10/18 0:00 時点で約 3,688m³ * 集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

＜地下水観測孔サンプリング実績＞

- ・有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。(有意な変動なし)
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。

以 上